

## ひと・夢・まち 町長コラム

### 第二の故郷（令和4年7月号）

6月上旬、都市対抗野球第二次予選東北大会が県野球場で開催されました。

地元のきらやか銀行も県大会を勝ち抜出場決定していたところに、私に始球式の依頼があり、快く引き受けました。きらやか銀行は、ここ数年間で二度東京ドームでの全国大会に出場している強豪チームですが、今年は惜しくも全国大会出場は逃してしまいました。練習拠点が中山町で、主力の小島投手は元長崎支店の行員でもあり、今後の活躍に大いに期待しているところです。

今回の大会では、新たな驚きの情報も舞い込んできました。福島県代表チームのメンバーに中山町出身者がいるとのこと。詳しく伺うと、十一年前の東日本大震災で被災され中山町に一時避難していた佐藤翔君でした。当時小学生だった佐藤君は、中山ジュニア野球スポーツ少年団、中山中学校と町の野球チームで活躍し、東海大山形、八戸学院大学で野球を続け、卒業後は福島県に戻り社会人野球クラブチーム(エフコムベースボールクラブ)に所属、今回福島県代表チームの一員として再訪町となったのです。たくましい身体と清々しい眼差しには、再会の喜びと未来への期待が感じられました。

「絆」と一言では言い表せない「奇跡」を感じつつ、彼の「第二の故郷」中山町からエールを送り続けたいものです。